

民報 ゆうばり

H22年度決算にくまがい議員反対討論

国策による353億円の債務縮減！夕張の宝の活用を！

9月27日くまがい桂子市議は、議会最終日の22年度決算に対し、反対討論をおこないました。その概要をお知らせします。

各会計に数十万円から億単位の不用額！

この不用額は実際の業務を遂行するに十分な市職員が確保されていないこと、さらに、市民にとっては、全国最低の住民サービス、最高の住民負担が負わされており、小学校は、3300人の反対署名にもかかわらず、この4月から1校に統合され、1時間近くの通学を余儀なくされている子もおり、市民からは心配の声が多くあがっている。

憲法と地方自治法を無視！国・道は無責任市民に責任のおしつけ！

住民サービスを切り捨て、赤字の重い負

担を押し付けられ、市民に、どれほどの責任があるのか。

夕張市の以前の放漫経営はたしかに問題もあったが、しかし、歴史をさかのぼってみると...

国は夕張市に対し異常に多額の起債を許可し、異常に多額の特別交付



登録有形文化財の旧炭鉱坑口

「国策によるつげ353億」の債務は縮減を！ 夕張の今ある宝を活用して夕張再生に！

税を交付しており、夕張市の財政破綻は国にも大きな責任がある。それは歴代の総務大臣も認めている。

リゾート開発も国策！自治大臣から表彰！

また、市は国が推進したリゾート開発政策にのり、倒産した観光施設をも買い取り、雇用にあてようと模索し続けた結果、夕張の観光を中心と

企業や銀行は、社会的責任を果たすべき！

文字通り、国策に翻弄されつげ、悪質な企業論理の後処理対策が今でも住民を苦しめている。そういった企業の責任も全く問われてい

ない。企業は社会的責任を果たすべき。さらに、金融機関も貸し手責任を問われることなく、資金と多額の利息を回収し、損失は全くこうむっていない。

国による「エメルギー」政策の転換！リゾート政策の失敗！交付税の大幅削減！

国や道は自分たちの責任を棚上げにしており、「見せしめ」的国や道の言いなりの「全国最低」を夕張に集中させるやり方

国・道の責任 棚上げ！夕張を「みせしめ」に！市民生活の保証を！

税などの削減は23億円となっている。

夕張市は、22あった炭鉱の閉山処理と研究者やマスコミからして、住宅、病院、水も指摘を受けている。道、道路などの社会「財政再建」どう

基盤投資に588億円が必要とされ、そのうち市の起債332億円は現在の赤字額を上回る額となつてい

る。その上、国の交付税削減が2000年から2005年でマイナス76億円にもなっている。また、市民の生活、とくに「三位一体改革」に伴う地方交付

再生に向けて夕張の宝の活用を！

夕張市の再生に向けて、いまある、夕張の宝をどう活用するかという視点が欠落。たとえば、山ごと国の天然記念物である夕張岳に関しては、「老朽化したヒュッテの建て替えや、トイレの汲み取り等に関して指定管理者となつた自然保護団体に丸なげ状態。地方交付税の算定に入っているのに1円の補助もないのはおかしい」という声が上がっている。

天然記念物の活用 登録有形文化財 近代化産業遺産群



ダムに沈む予定の三弦橋

(2ページへつづく)

議会と各団体の懇談会

「再生可能エネルギーの利用・活用を」

＝くまがい議員の提案＝

去る 9 月 22 日、市議会と市内 15 団体の懇談会が開催され、それぞれの取り組んでいる分野から、現状報告と今後の展望や議会に対する要望が出されました。

参加団体は商工業、農業、労働、福祉、教育・文化、交通の各分野から代表者 17 名が出席しました。団体によっては財政破綻後、市の補助金削減で、運営に支障が出ていることや、高齢化で組織の後継者不足が起きているなど率直な悩みも出されました。

要望の中に商工会や夕張労連から「再生エネルギーの利用を、地域の特性を生かして開発できないか検討してほしい」と発言がありました。

これに対し、共産党のくまがい桂子議員が夕張における可能性として「風力のほか木質ペレットや木質バイオマスの利用・活用がある。化石燃料に比べて、雇用が 10 倍になるといわれる自然エネルギーについて、生産を軸とした環境保護と新たな雇用政策として実現させたい。脱原発が求められるなかで、国の政策として取り組むよう提案していきたい」と発言しました。



登録有形文化財の意見が上がっている。旧炭鉱坑口や隧道も放置状態、経済産業省が指定する近代化産業遺産群など、炭都夕張の遺産をどう活用するのかが、今、問われている。

また、数年後にシューパロダムに沈む予定の三弦橋は、国内では唯一、世界でも稀有な鉄道橋とされており、専門家からは、「登録文化財から重要文化財に、そして世界遺産にと価値を強く訴えるべき」との

時、炭都夕張の歴史の遺産をしっかりと保全し、夕張の再生に生かすことこそが求められている。

人口の流出が止まらないなか、再生計画 2 年目を策定する時期を迎え、「夕張の財政破綻がなぜ起きたのか歴史の経過を市民の前に明らかにし、債務の縮減を図るこ

「財政再生計画」では「地域の再生に着実に取り組めるよう国・道に求める」という文言！

夕張の再生を長期的展望に立って考えたい。

「財政再生計画」では「地域の再生に着実に取り組めるよう国・道の指導、助言を求める」と明確に記載されている。

単に赤字の解消、最低限の市民生活を守るだけでは、夕張市の真の再生は、はかれない。

ある地域の宝をしっかりと保全し、夕張の再生に生かすことこそが、いま求められていることを述べ、反対討論とする。

10 月 2 日「新婦り、新鉱事故と原発人まつり」がおこなわれ、いずれも国の工

楽しく、おいしく！ 新婦人まつり！



↑「カード合わせゲーム」で笑顔がはじける！
←福島の子を原発から守りたいと、署名する参加者のみなさん

は、まず東日本大震災で犠牲になられた方々への黙祷をしました。

まつりは、身体ほぐし体操を行い、その後「パンくい競争」「カード合わせゲーム」などみんな童心に返って楽しみました。お昼には、ブタ汁やおでんなどに舌鼓をうち、午後はピクニック大会、バザーなどが賑やかにおこなわれました。

毎年続けられてきました。今年も約 40 名の参加で笑顔あふれるまつりとなりました。

開会式では、まず東日本大震災で犠牲になられた方々への黙祷をしました。

まつりは、身体ほぐし体操を行い、その後「パンくい競争」「カード合わせゲーム」などみんな童心に返って楽しみました。お昼には、ブタ汁やおでんなどに舌鼓をうち、午後はピクニック大会、バザーなどが賑やかにおこなわれました。

「新婦り、新鉱事故と原発人まつり」がおこなわれ、いずれも国の工に楽しく美味しくつりは、新鉱事故で引き起こされたもた。参加して良かった。参加して良かった。来年も参加したいとの感想が寄せられていました。